

第 3 回 有識者ワーキンググループ 資料①

これまでのWGで有識者からいただいた主な意見の体系整理

全体的な考え方の整理

WGの主な意見 引き続き議論を深める

- SDGsは、府だけでなく、様々な主体とのパートナーシップにより取組むものであるということを基本に、めざす姿を整理する必要
- 平易な言葉、具体例を示すなど府民へのわかりやすさが重要
- 「誰ひとり取り残さない」、「変革」といったSDGsの特徴が活かされるよう、野心的で背伸びするくらいの意気込みが必要

府の到達点（課題）の検証（※）

議題

- **SDGs17ゴールの現時点の到達点を検証**
 - ・ 国連アジェンダのインディケータや、政府実施指針、自治体SDGs指標などを用いた定量的な検証
 - ・ 庁内各部局のゴール別取組み状況などの検証
- ▶ **有識者から評価をいただき、府として伸ばすべきゴール、底上げすべきゴールなどについて、議論を深める**

既存計画等の整合性

議題

- いのちビジョンや成長戦略、まちひとしごと戦略と、SDGsの17ゴールとの関係性、取組みの方向性を分析

めざす姿「たたき台」（取組の方向性）

WGの主な意見

- SDGsは国際目標なので、国際的に見て、大阪の「めざす姿」がどのように伝わるのかを考慮すべき
⇒ 例えば、「高齢化」は、既に先進国だけの問題ではなく、世界全体で進んでおり、日本にイニシアティブが期待されている。
最先端の知見や他の国で取組むことができていない対応策、工夫などを万博で発信できれば大きな国際貢献となる。
- 今を生きる我々だけでなく、将来世代に思いをはせ、どのような社会を残すのかという視点が重要

引き続き議論を深める

- ・ **世界への貢献を意識した「めざす姿」**
- ・ **府として次世代に残す「めざす姿」**
- ▶ **ゴールの絞り込み（具体的な目標の整理）**

市民、民間セクターの意見も踏まえ、各部の取組みに反映

WGの主な意見

- 広く府民や企業の声を吸上げ、「めざす姿」を実現するために、府の取組みと、府民・企業の取組み、全てがつながっていくという「ストーリー」を具体化したうえで、府として注力すべき、柱となるゴールを整理していくべき。
- 府民や企業が、当事者としてメリットを感じる仕掛けが必要
⇒ SDGsを橋渡しに、様々なパートナーシップを構築することや、ビジネス面で積極的に活用していくことなども含む

今後調整を進める

- 市民や企業との意見交換型ワークショップの開催 など
- 庁内各部、市町村の具体的な取組みを議論



府や市町村、府民、企業など、全ての主体が協調して取組みを進める → 2030年

（“橋”のように、取組みがつながっていくイメージ）

(※) SDGs17ゴールの現時点の到達点、課題の検証について 《考え方》

① SDGs17ゴールに直接関連する指標の達成状況、強み、弱みを分析(国際的な観点や国内における優位性等の比較)

WGにおける主な意見

諸外国から見て日本や大阪が秀でていることは何かという視点が必要。一方で、国連アジェンダに基づく指標は、自治体が使えるレベルのものがない。ローカライズ指標として、「自治体SDGs指標」が開発されており、自治体間の強みや課題の比較、見える化が可能。

分析手法

各国のSDGs達成状況を比較した「SDSN指標（国際比較指標）」及び、「自治体SDGs指標」を用い、17ゴール毎に、国際的な強みや、他府県・都市間におけるゴール別の優位性や、課題などを分析

② SDGs17ゴールに関連する各部の取組みに関する統計データなどを分析

WGにおける主な意見

地域に根差した取組みにしていくことがとても大事になる。自分たち（府）の現状認識や取組みを踏まえ、何が大切となるのか強弱をつけて考え、どのゴールにつなげるのか整理すれば意味のあるものとなる。

分析手法

SDGsの17ゴールに関連する各部の取組み等を踏まえ、個別の統計データや指標などから、定量的に他府県や都市間の比較を行い、SDGsの観点から強化、充実すべきかを分析

③ SDGs17ゴールの各要素(環境面、経済面、生活面など)について府民の重要度を分析

WGにおける主な意見

SDGsの推進で最も重要なのは、地域の住民や企業がSDGsをどのように捉えているか、その声をしっかり把握すること。行政の優先順位と、府民や企業などの優先順位は異なる。双方にとってプライオリティの高いゴールに優先的に取り組むという分析が必要…

分析手法

府民（企業）アンケートを実施し、環境面や経済面、生活面、社会面など、SDGsの17ゴールに関連する要素別に、男女、各年齢層でどのようなニーズがあるのかを整理。「①」、「②」と、府民から見た17ゴールの重要度との整合性を分析する。

現時点の到達点や課題を踏まえ、府として伸ばすべきゴールや底上げすべきゴールについて議論を深め、「めざす姿」の検討につなげる